




第2期

定時株主総会

丸善C H I ホールディングス株式会社



事業報告

当社第二期の概況

✦ 事業の経過及びその成果

✦ 事業別販売の状況

◆ 経済情勢について

➤ 東日本大震災による甚大な被害

● 個人消費の自粛マインド

● 電力供給不足が経済活動に影響

➡ 日本経済全体に大きな打撃

➤ 欧州の財政・金融不安

● 超円高の長期化

➡ 景気の先行き不透明感

◆当社グループについて

7社体制で第二期をスタート

CHIグループ株式会社

丸善(株)

(株)図書館流通センター

丸善書店(株)

(株)ジュンク堂書店

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

(株)honto

◆当社グループについて

2011年5月1日、商号変更

丸善CHIホールディングス株式会社

丸善(株)

(株)図書館流通センター

丸善書店(株)

(株)ジュンク堂書店

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

(株)hontoブックサービス
(2011年6月1日商号変更)

◆当社グループについて

経営理念

価値観

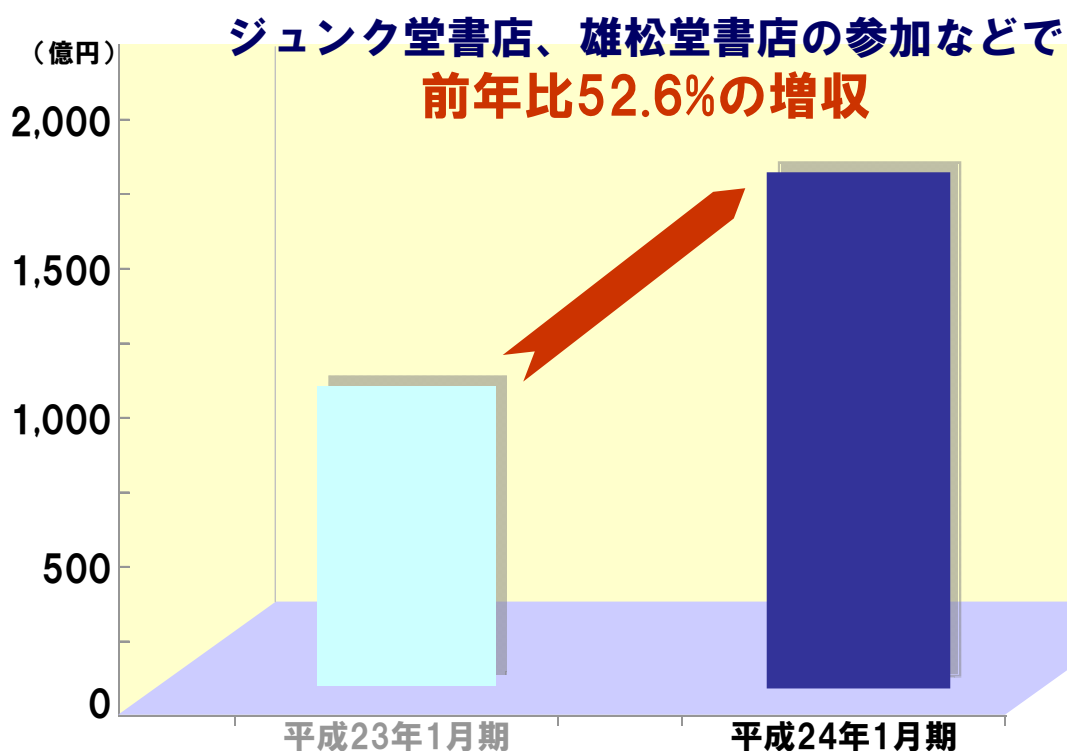
知は社会の礎である

ビジョン

知の生成と流通に革新を
もたらす企業集団となる

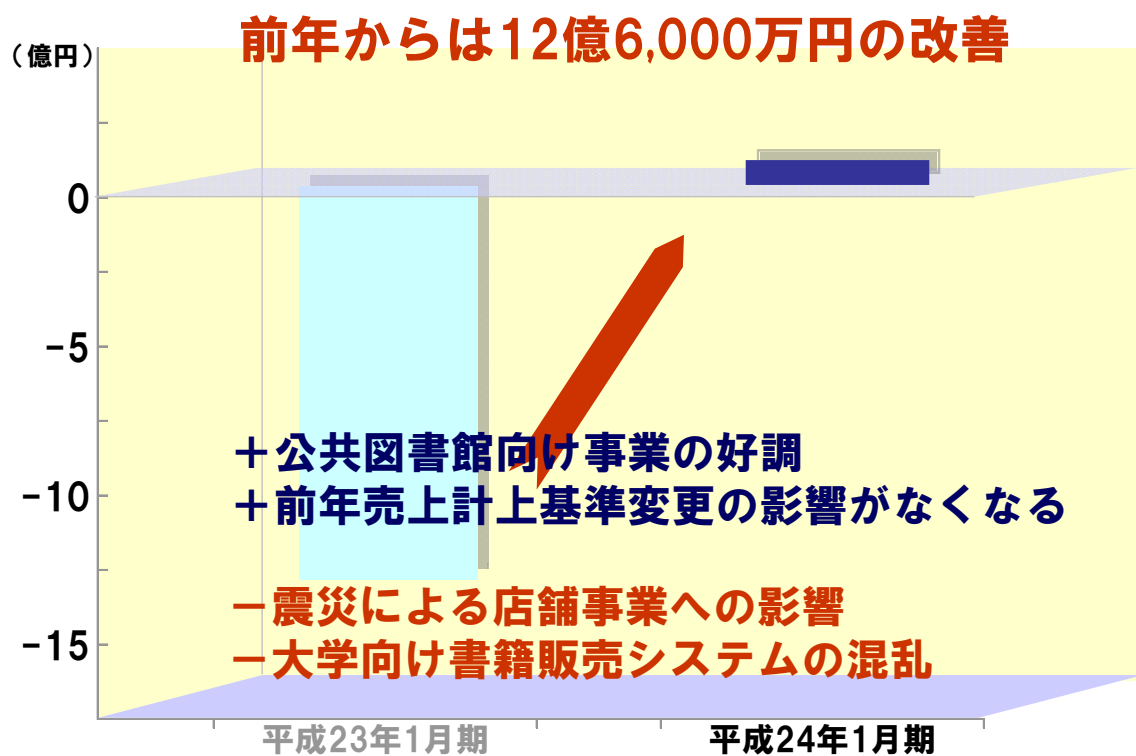
売上高：1,760億1,300万円

（前年 1,152億7,000万円）



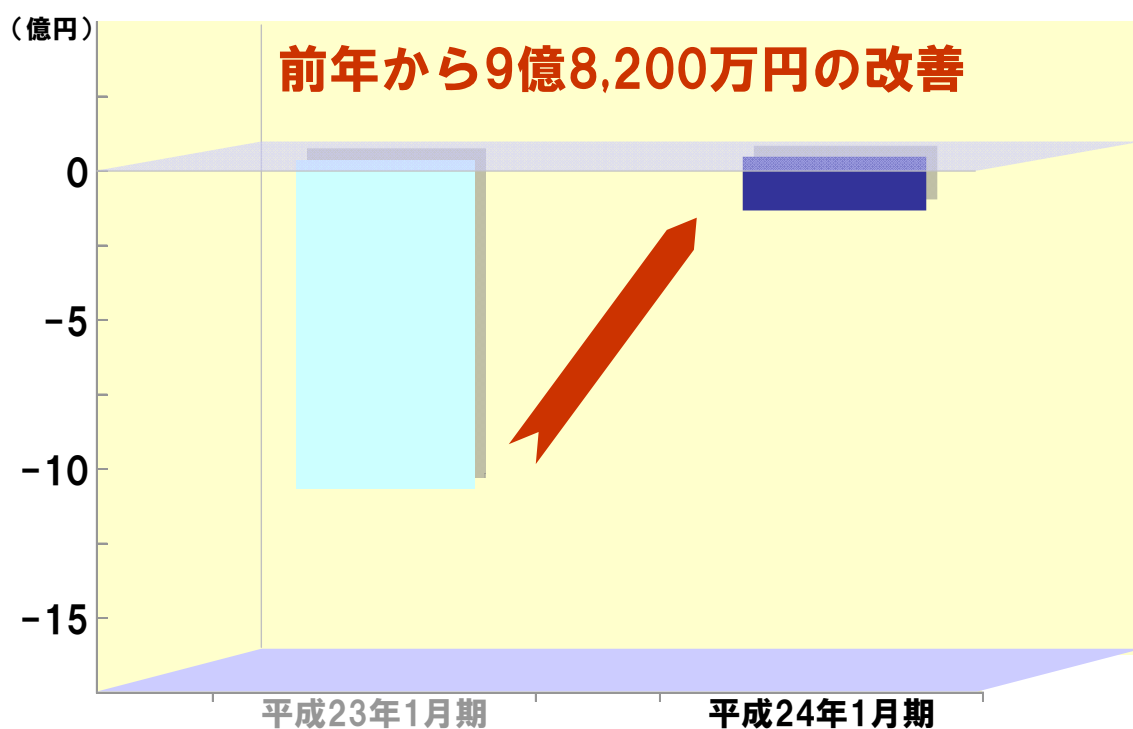
営業利益：500万円

(前年 12億5,500万円 の営業損失)

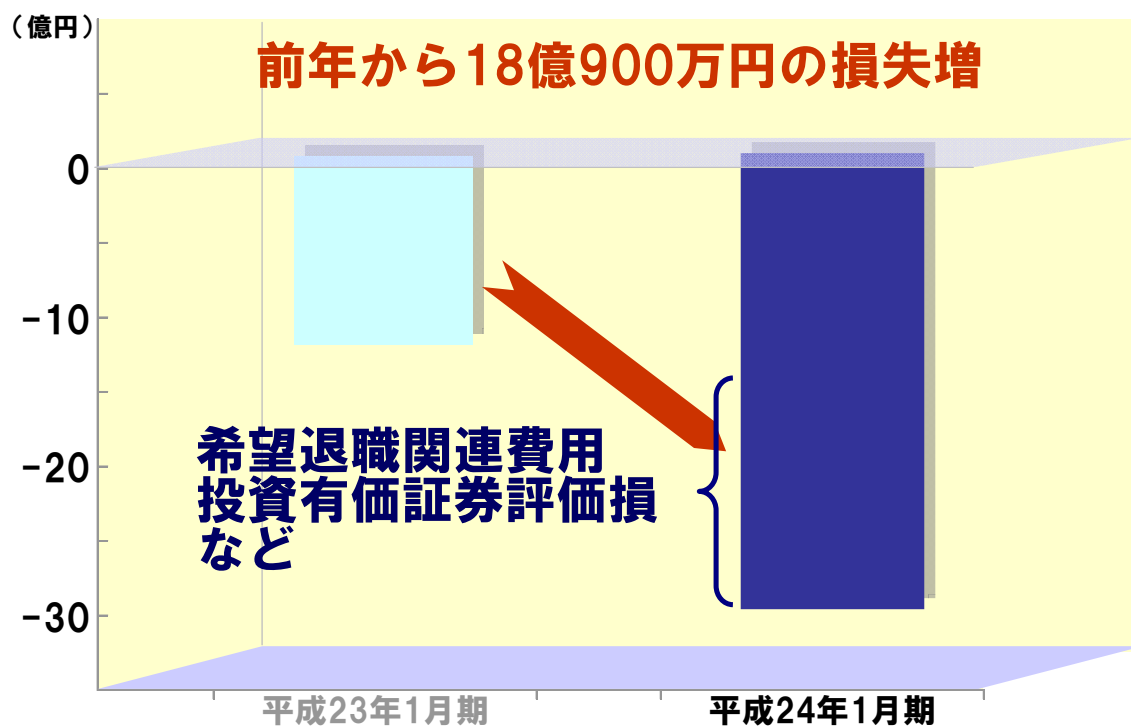


経常損失：1億1,800万円

(前年 11億円の経常損失)



当期純損失：30億2,700万円 (前年 12億7,300万円の損失)



当社第二期の概況

✦事業の経過及びその成果

✦事業別販売の状況

文教市場販売事業

図書館流通センター

- 図書館向け書籍販売が好調に推移

雄松堂書店

- 研究者向け販売を中心に堅実に推移

丸善

- 前期減収要因の会計基準変更の影響が平常に

文教市場販売事業

売上高	685億1,000万円
営業利益	16億6,200万円

丸善における基幹システム再構築時の混乱の影響はあったが、増収増益を確保

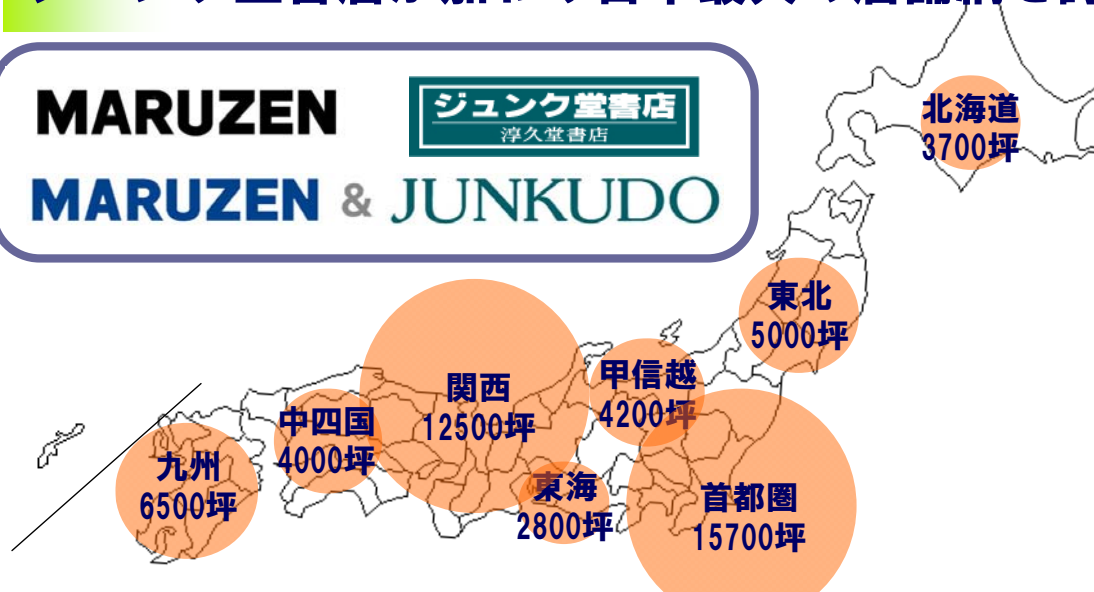
店舗・ネット販売事業

ジュンク堂書店が加わり日本最大の店舗網を誇る

MARUZEN

ジュンク堂書店
淳久堂書店

MARUZEN & JUNKUDO



期末合計 92店(5万坪超)

店舗・ネット販売事業

売上高 837億4,100万円

営業損失 7億3,400万円

ジュンク堂の加入で大幅増収も
震災による営業中止・短縮
新規出店(12店)コスト増により減益

図書館サポート事業

図書館流通センター（公共図書館）

丸善（大学図書館）

- 業務請負 [カウンター、目録作成、蔵書点検等]
- 運營業務 [指定管理者制度、PFI]
- 人材派遣

期初：受託館数597館

期末：受託館数690館

図書館サポート事業

売上高 140億1,000万円
営業利益 10億3,600万円

公共図書館向け、大学図書館向け
ともに順調に成長し、増収増益

出版事業

丸善出版 [電子コンテンツを含む専門書]

岩崎書店 [絵本・童話]

● **新刊302点を刊行、堅調に推移。**



その他事業

丸善 [小売店舗向け内装企画・デザイン等]

● **東日本大震災により工事案件が中止や延期に**

図書流通 [入出荷業務]

● **図書販売の好調により業務増加、利益に寄与**

そのほかの事業報告

お手許の招集ご通知の添付書類
5ページ から 21ページ を
ご高覧くださいますよう
お願い申し上げます。
なお、対処すべき課題については
後ほど当期の取り組みとともに
ご説明いたします。

連結計算書類

- ◆連結 貸借対照表
- ◆連結 損益計算書

◆連結貸借対照表〔平成24年1月31日現在〕

単位:百万円

流動資産	87,501	流動負債	66,980
現金及び預金	14,874	支払手形及び買掛金	22,300
受取手形及び売掛金	20,240	短期借入金	29,344
商品及び製品	42,522	その他	15,336
その他	9,865	固定負債	27,749
固定資産	38,042	長期未払金	12,878
有形固定資産	20,036	その他	14,871
建物及び構築物	6,187	負債合計	94,729
土地	11,133	株主資本	31,269
その他	2,716	資本金	3,000
無形固定資産	4,821	資本剰余金	14,217
ソフトウェア	4,587	利益剰余金	14,052
その他	233	自己株式	▲0
投資その他の資産	13,184	評価・換算差額等	▲1,230
資産合計	125,555	少数株主持分	786
		純資産合計	30,825
		負債・純資産合計	125,555

◆連結損益計算書

自 平成23年2月1日
至 平成24年1月31日

単位:百万円

売上高	176,013
売上原価	133,784
売上総利益	42,228
販売費及び一般管理費	42,223
営業利益	5
経常損失	118
特別利益	197
特別損失	2,183
税金等調整前当期純損失	2,103
当期純損失	3,096

計算書類の詳細

お手許の招集ご通知の添付書類

22ページ から 44ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます。

対処すべき課題

⊕**対処すべき課題**

⊕**第三期の取り組み**

◆対処すべき課題

丸善基幹システム再構築の混乱について

平成22年12月に発生いたしました丸善(株)における基幹システム再構築の際の混乱につきましては、株主さま、お客さまをはじめ、多くの皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、あらためて深くお詫び申し上げます。

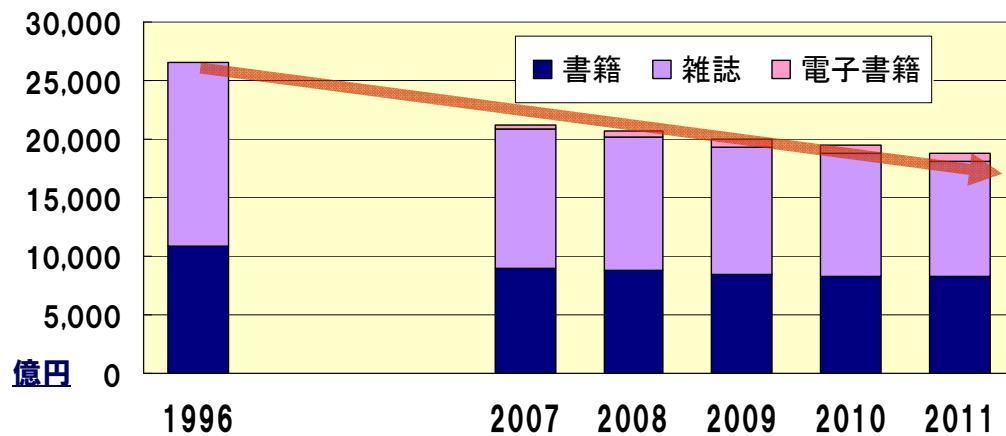
◆対処すべき課題

丸善基幹システム再構築の混乱について

この混乱の影響につきましては、当期中にほぼ回復しており、財務報告に関する内部統制についても改善を進めてまいりました。
引き続き、グループの総力をあげてITガバナンスをはじめ内部統制体制を強化してまいります。

◆対処すべき課題

書籍雑誌販売市場の動向



- ◆ ピーク時から30%以上の減
- ◆ 電子書籍は、外資含め様々なプレーヤーが参入
- ◆ 業界の事業モデルが大きく変容していく

書籍販売市場も勝ち組・負け組が鮮明に

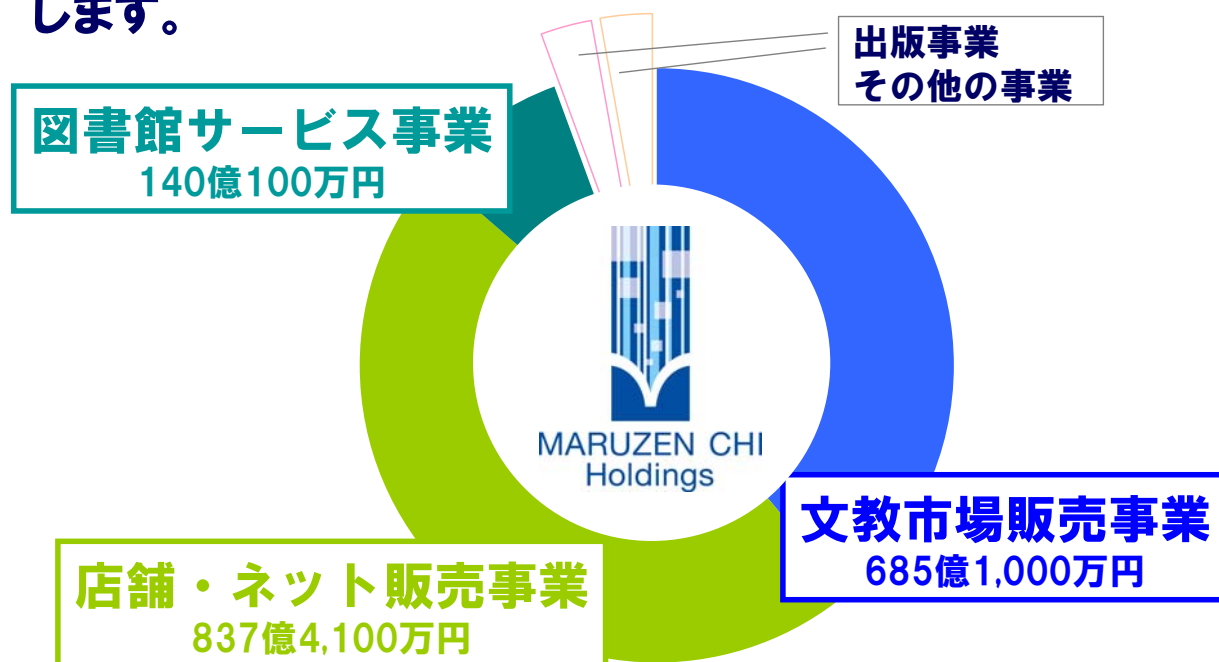
対処すべき課題

⊕ 対処すべき課題

⊕ 第三期の取り組み

◆第三期の取り組み

厳しい市場環境の中での、当社の主力である3つの事業領域について、勝ち残りのための取り組みをご説明します。



◆第三期の取り組み

文教市場販売事業

685億1,000万円

公共図書館向け

図書館流通センター
(TRC)

効率的なビジネスモデルで高い収益性

大学・研究者向け

丸善
雄松堂書店

丸善のコスト改善・雄松堂書店の特色あるオリジナル商品や研究者との密接な関係

◆第三期の取り組み

文教市場販売事業

685億1,000万円

これまで培ったブランド力で
継続的に存在感を発揮
+
3社の協業により一層の販売力強化

今後もグループの収益基盤として
堅実な成長を見込む

◆第三期の取り組み

図書館サポート事業

140億100万円

これまでも順調に事業を拡大
引き続き成長余地のある市場

公共図書館向け

図書館流通センター
(TRC)

施設管理の業務受託でも競争力を強化

大学図書館向け

丸 善

大学図書館の将来像を描くソリューション提案

◆第三期の取り組み

図書館サポート事業

140億100万円

これまでも順調に事業を拡大
引き続き成長余地のある市場

提供するサービスの価値を高め
さらなる成長領域として拡大

◆第三期の取り組み

店舗・ネット販売事業

837億4,100万円

店舗売上は800億円まで拡大
(全国書籍売上の1割弱のシェア)

- ◆書店数は減少(10年で5,000店、25%以上減)
- ◆一方でアマゾンなどネット書店は成長継続
- ◆電子書籍も3年後には2,000億円市場に

書店の事業モデルに
大きな地殻変動が起こりつつある

◆第三期の取り組み

店舗・ネット販売事業

837億4,100万円

店舗売上は800億円まで拡大
(全国書籍売上の1割弱のシェア)

スクラップ&ビルドなど、これまでの取り組みに加えて、新しい事業モデルの構築が必須

ハイブリッド型総合書店
の構築

◆ハイブリッド型総合書店

『「Kindle、年内に日本へ」アマゾンCEOが表明』
(平成24年4月13日・日本経済新聞より)

＜紙を電子に置き換える＞リプレイスモデル

＜リアルから奪い取る＞ことで成長する戦略

『米書店大手に淘汰の波、2位ボーダーズ
破産法申請』 (平成24年2月17日・日本経済新聞より)

◆ハイブリッド型総合書店

このままでは我が国の書店は
急速に減少していく

◆日々の生活で気軽に立ち寄れる存在

◆「検索」では得られない、本との出会い

◆書店～それ自体が出版物の販促媒体

書店は我が国の出版文化＝「知」
を支えるインフラである

◆ハイブリッド型総合書店

ハイブリッド型総合書店

「リアル書店」における「紙の本」の流通を
守ることが我々の使命

書店は我が国の出版文化＝「知」
を支えるインフラである

◆ハイブリッド型総合書店

DNP含めたグループ全体の力を結集して
ハイブリッド型総合書店「honto」を構築



◆ハイブリッド型総合書店

DNP含めたグループ全体の力を結集して
ハイブリッド型総合書店「honto」を構築



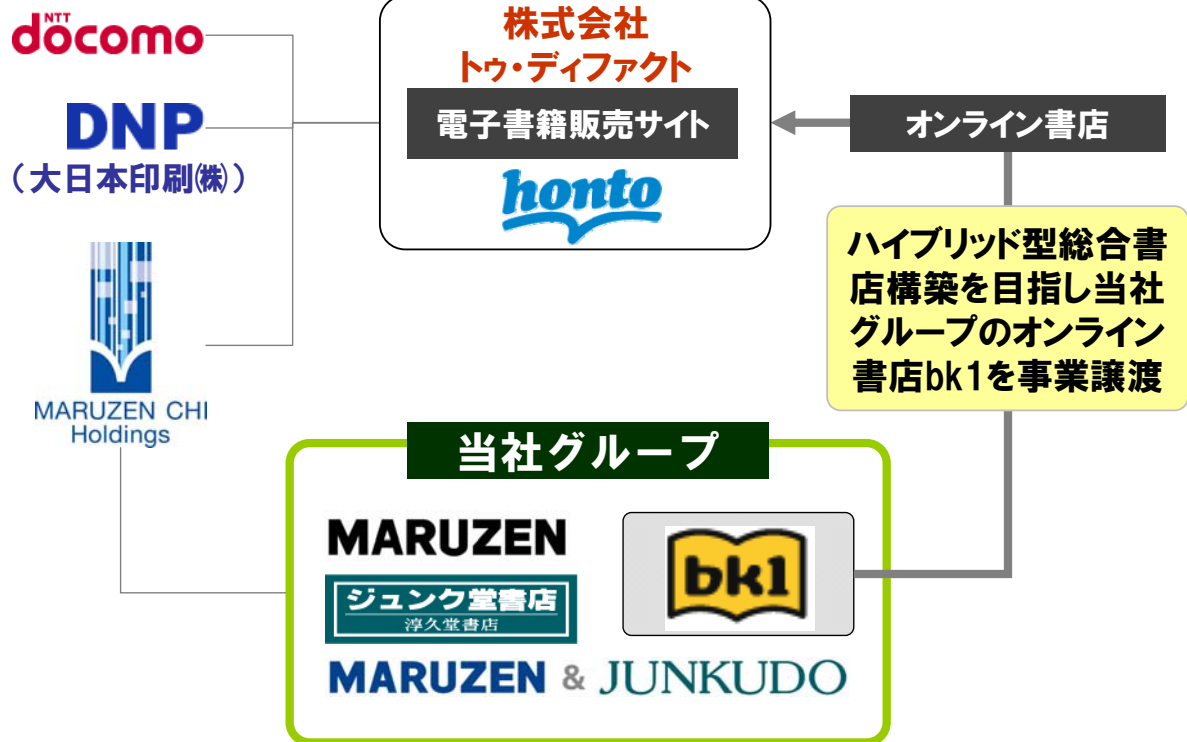
外資含めた競合

十分な資本力

日進月歩の技術やサービス

高度な開発力

◆ハイブリッド型総合書店



◆ハイブリッド型総合書店



◆主要3事業 これからの取組み

文教市場販売事業

成熟した市場

強いブランド力を活かし、今後も安定収益

図書館サービス事業

成長余地大

サービスの差別化により、一層の収益拡大

店舗・ネット販売事業

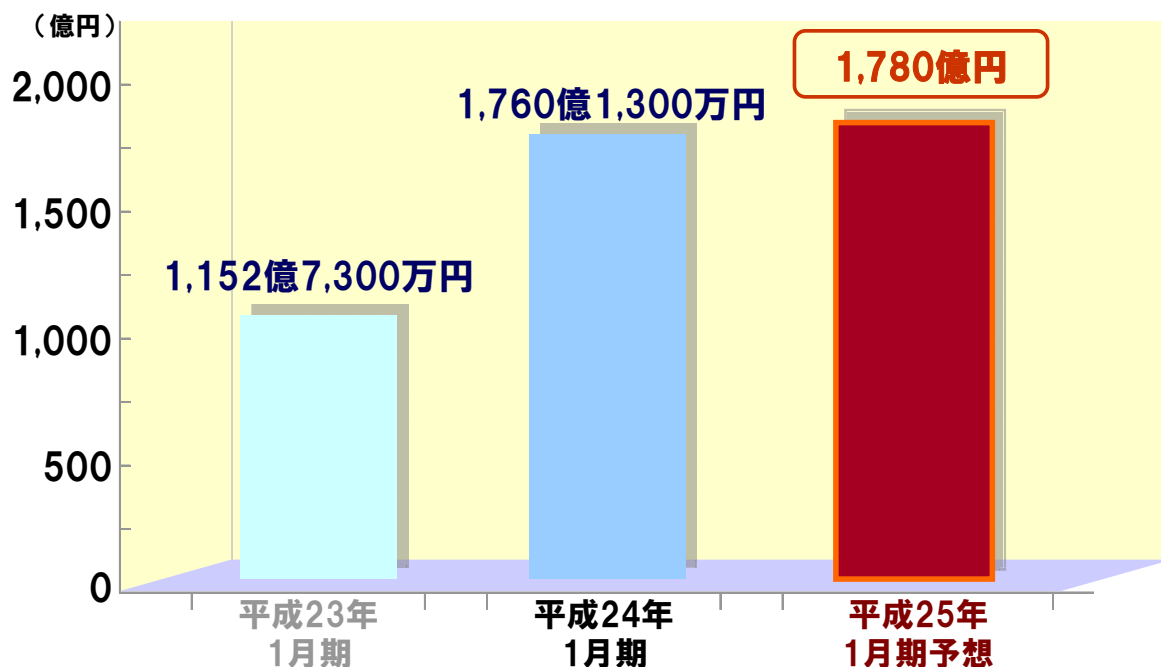
激変する市場

ハイブリッド化を武器にシェア拡大による勝ち残り

第三期の計画

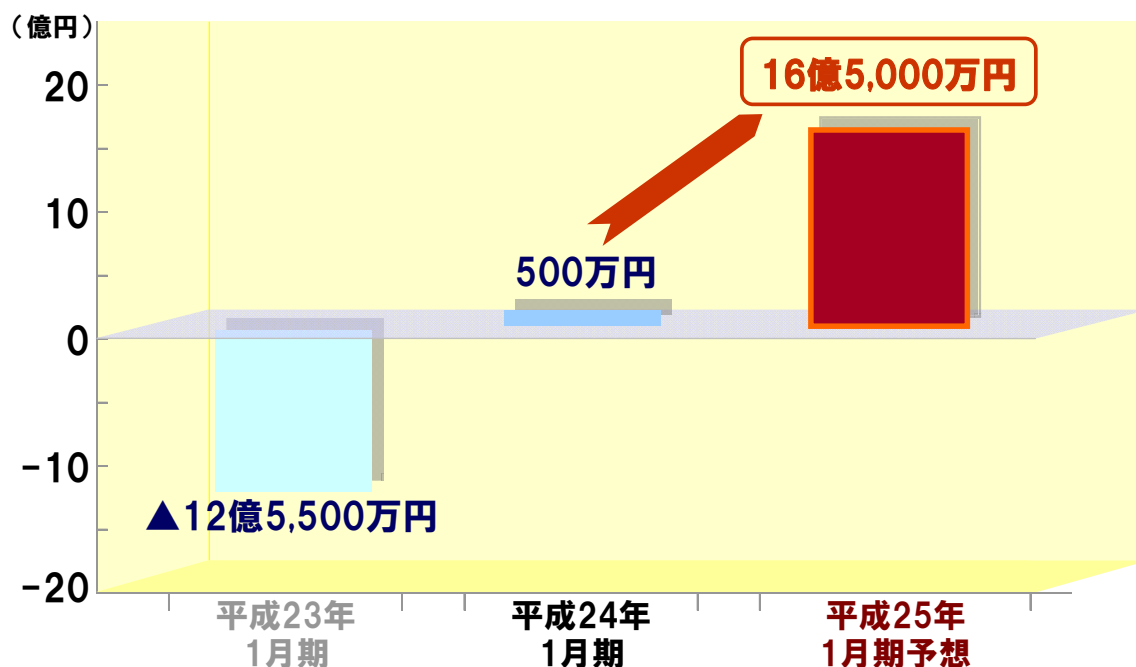
平成25年1月期計画：売上高

市場全体は縮小傾向も、シェアアップにより若干の増収を見込む。



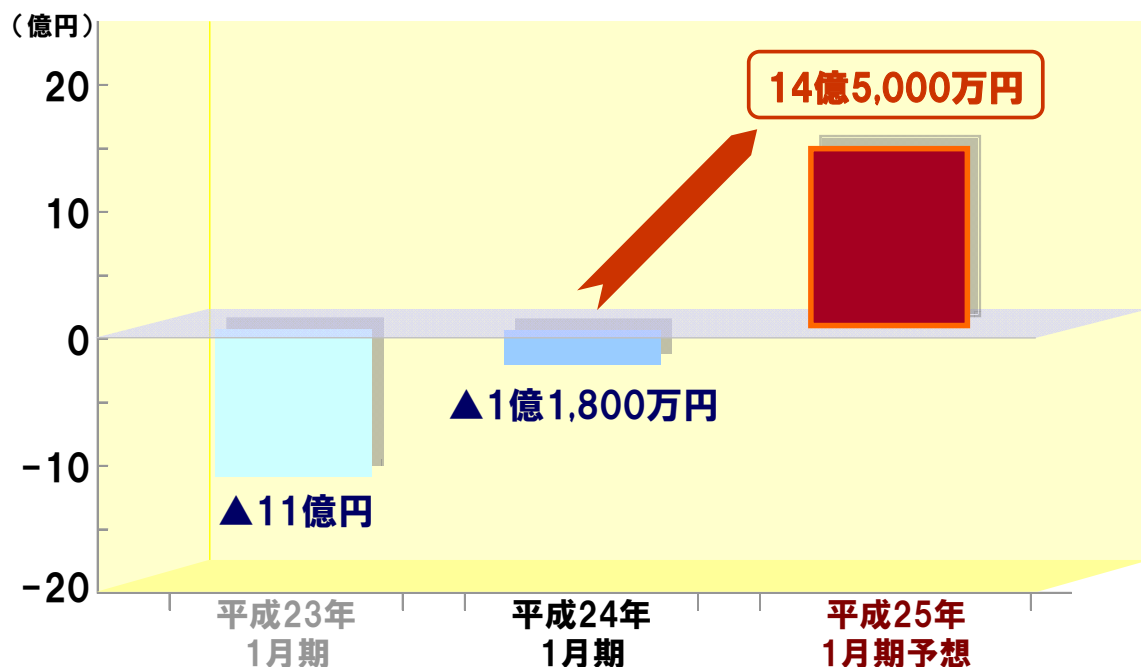
平成25年1月期計画：営業利益

当期に取り組んだコスト改善効果の発現など、収益構造の転換により大幅増益の見込み。



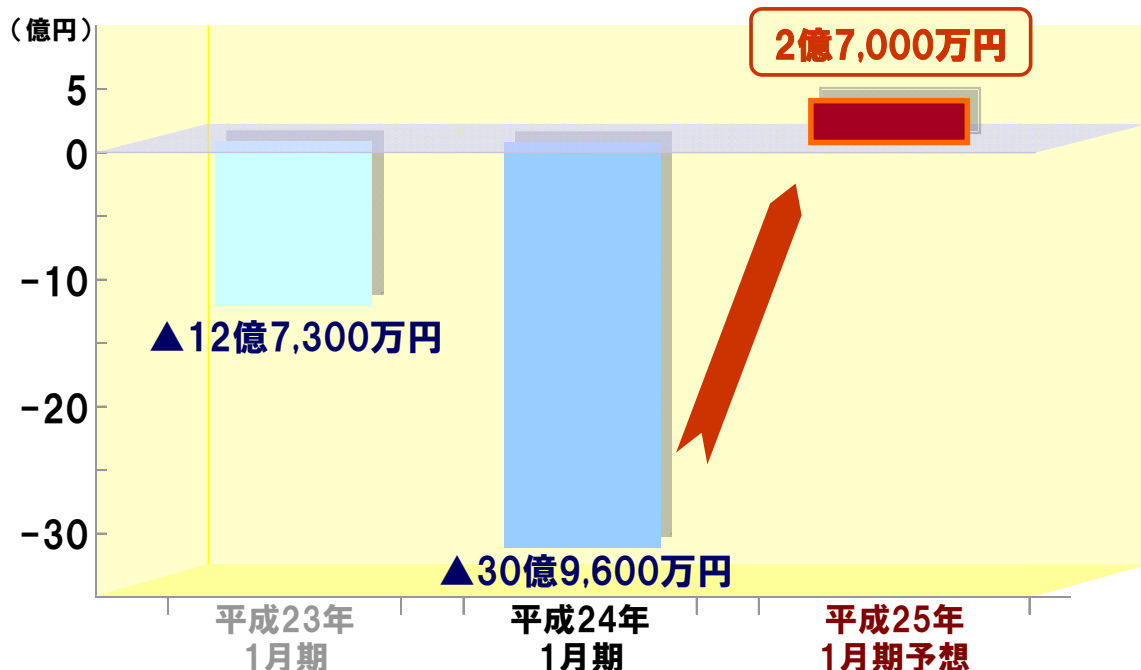
平成25年1月期計画：経常利益

営業利益と同様に増益を計画。



平成25年1月期計画：当期純利益

当期特損計上した希望退職関連コストなどの特殊要因もなく、最終黒字化を見込む。




平成25年1月期計画：

第三期（平成25年1月期）については、以上のとおり大幅な増収増益を見込んでおります。


また、第四期以降につきましても、ご説明して参りましたハイブリッド化による収益効率の向上を図ってまいる計画です。

**今後ともご指導、ご鞭撻を
賜りたくお願い申し上げます**



第2期 定時株主総会

丸善C H I ホールディングス株式会社



第1号議案 剰余金の処分の件

〔参考書類47ページ〕



第2号議案

取締役10名選任の件

〔参考書類47ページから51ページ〕



第2期

定時株主総会

丸善CHIホールディングス株式会社




第1号議案

剰余金の処分の件



第2号議案

取締役10名選任の件




第2期 定時株主総会

丸善CHIホールディングス株式会社



MARUZEN CHI
Holdings



第2期 定時株主総会

丸善CHIホールディングス株式会社